

基本目標

「人づくり 地域づくり 未来づくり」の視点

当市では、人づくりは「人類発展の礎」という理念のもと、明日の上越を担う人材育成を図り、豊かで住みよく、将来にわたって持続的に発展する地域社会の実現を目指してきました。

人は、家庭や学校、地域、社会を通して成長を続けていきます。本プランは、学校教育と家庭や地域を含む社会教育の相互作用の中で育まれる「人づくり、地域づくり、未来づくり」の視点を大切にします。



第1次総合教育プランの基本理念を継承し、「人づくり、地域づくり、未来づくり」の視点から、次の目標を定めます。

ふるさとを愛し、自己実現を目指す心豊かな人をつくる

郷土の自然や文化、伝統に接することは、心の奥深いところで人格の形成に影響してきます。物質的に豊かであっても「心の豊かさ」が生まれるわけではありません。自然や文化、伝統に接することで、根源的な自己を支えるよりどころ、生きていく上での基礎となる「根っこ」が形成されます。「根っこ」をもち、多くの人と関わったり地域との結びつきを深めたりする中で、自己実現を目指す「心の豊かさ」を作ることが重要だと考えます。

学びあい、生かしあう中で成長し続ける地域をつくる

地域が学校をつくり、学校が地域をつくっていく関係が求められています。少子化や高齢化などで地域社会が求心力を失いつつある中で、教育に夢をたくして地域社会の形成を考えていくことは重要です。次の時代を形成していくことは教育の本質的な機能であり、その機能を地域がもつことが、地域の成長には欠かせません。地域自らが主体的に成長していくためには、学びあい、生かしあうという姿勢が重要だと考えます。

自立し共生する社会で、一人ひとりが輝ける未来をつくる

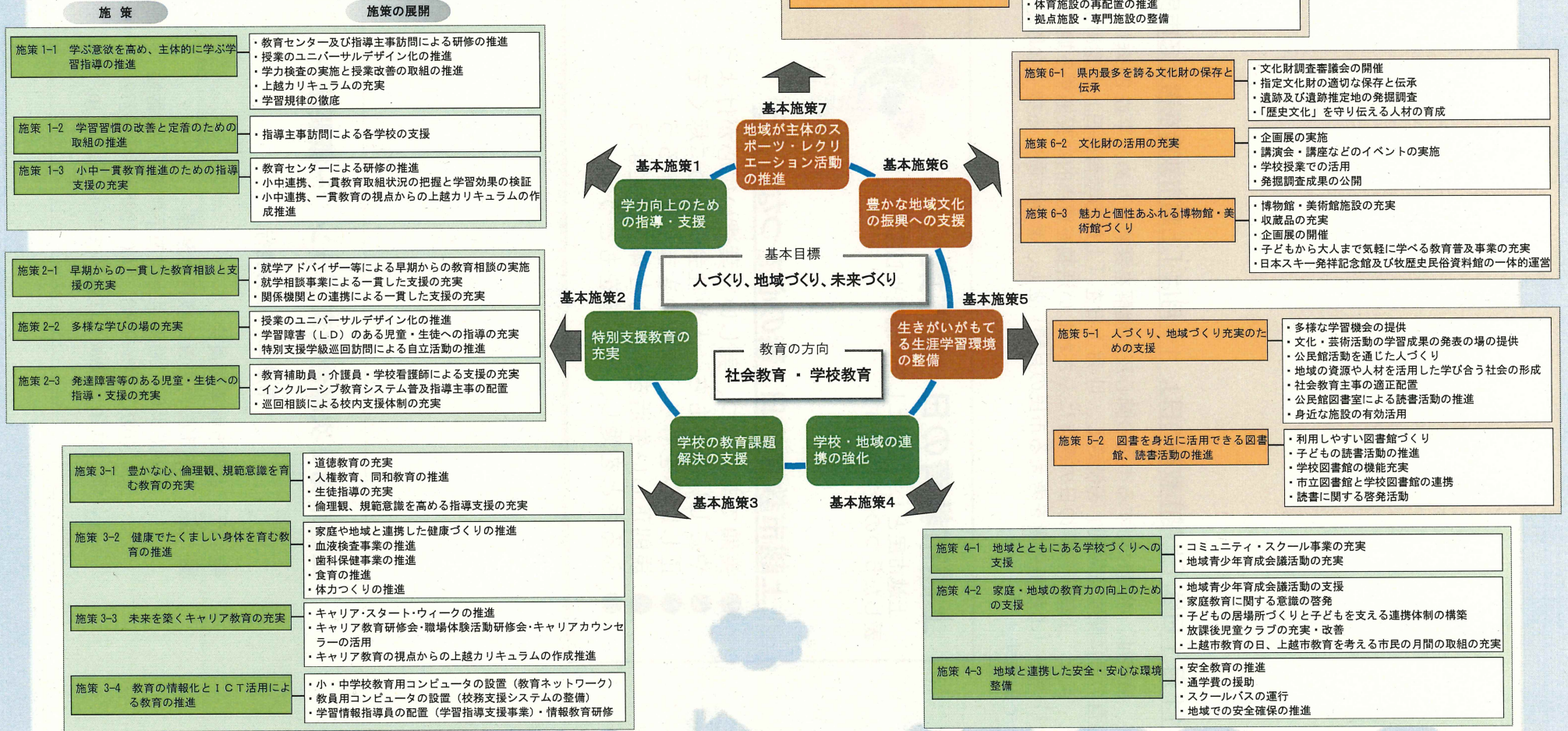
主体的に生きていくことと助け合い、協力して生きていくこととのバランスがとれていないと真の自立や共生は生まれません。時代の変化の中でも確固とした自己判断と自己決定ができる自立心をもつとともに、社会の一員として、他者を理解し、他者の人格を尊重する中で、力を合わせて生きていくことが重要です。一人ひとりが自立し、共生していくことで、真に豊かで輝かしい未来が生まれると考えます。



計画の体系

第2次総合教育プランは、市の現状と課題を踏まえた教育の方向性を示す「基本構想」と、基本構想の実現に向けた取組を示す「基本計画」で構成します。

基本構想では、「基本目標」と、「学校教育」「社会教育」の2つの分野の方向性を定め、基本計画では、基本構想の実現に向けて、第1次総合教育プランの検証結果、教育を取り巻く環境の変化や国の新たな動きなどを踏まえ、7つの基本施策と、基本施策を具体化していくための21の施策を掲げます。



計画の推進

計画の着実な推進のためには、市民の意見やニーズを把握するとともに、計画の進捗状況や成果等について進行管理を行い、取組や事業内容等の見直しを行うことが必要です。

このため、施策の成果指標と施策を推進するための事業を定めた実施計画を策定し、毎年度、本計画に基づく施策の実施状況、指標の達成状況について、点検・評価を行うとともに、その結果を踏まえ、当市が目指す教育の実現に向け、施策内容の見直し・改善を行い、次年度以降の施策の展開に反映させます。

11月1日は「上越市教育の日」、11月は「上越市教育を考える市民の月間」

当市は、教育に対する市民の関心及び理解を深めるため、平成25年に「上越市教育の日に関する規則」を制定し、11月1日を「上越市教育の日」と決めました。

また、上越市教育の日の趣旨にふさわしい活動を重点的に実施する期間として、11月を「上越市教育を考える市民の月間」とし、教育に関する様々な取組を実施しています。

上越市教育の日 合言葉

上越市民として大切にしたい規範や心情を表した5つの愛言葉です。



上越市教育の日 義の心をつなげよう

- 笑顔であいさつ、美しい言葉遣いに心がけよう
- やさしい心もち、人や社会のために尽くそう
- 正しい心もち、約束やきまりを守ろう
- 規則正しい生活をし、心と体を鍛えよう
- ふるさとを愛し、夢・志をもとう

上越市第2次総合教育プラン ～概要版～

平成29年3月発行

発行 上越市教育委員会
編集 上越市教育委員会教育総務課
〒942-8563 新潟県上越市下門前1770番地
TEL (025) 545-9243 FAX (025) 545-9272
URL <http://www.city.joetsu.niigata.jp/>
